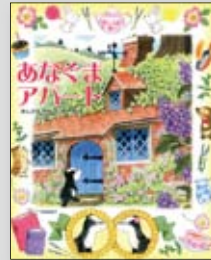


新刊案内



「トペラトト」

田島征三・おたかしずる

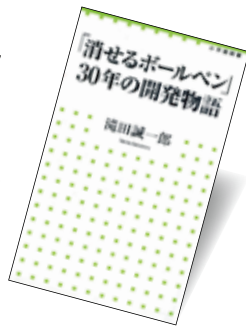


「あなぐまアパート」

あんびるやすこ

おしゃべりなコンピュータ ----- 山岸順一(他)
 マンガでわかるイスラム v s. ユダヤ --- 古城武司
 番茶と庶民喫茶史 ----- 中村羊一郎
 どんな数にも物語がある ----- アレックス・ペロス

図説・戦う城の科学 ----- 萩原さちこ
 葬送の仕事師たち ----- 井上理津子
 盗作の言語学 ----- 今野真二
 未来のことは未来の私にまかせよう ----- 黒木奈々



「文房具」

電子メールなどによる言葉のやり取りがすっかり定着し、ものを書くという習慣がめっきり減った現代社会。そんな今だからこそ、心を落ち着かせて、手で文章を記すことの価値が高まってきているように感じます。今回は、手書きをする際などに必要となる文房具について、熱く語る3冊を紹介いたします。

高畑正幸『究極の文房具カタログ』。目新しい機能がある訳でもなく、決して高級品でもないのだけれど、日々活用する上で、安定した力を発揮する頼れる相棒を紹介する一冊。これまで当たり前のように使っていた見慣れた文房具に対しても、著者のこだわりの解説を読んだ後では、貫録すら感じてしまうかもしれません。

滝田誠一郎『消せるボールペン』30年の開発物語。何度でも書き直すことができるボールペンとして筆記具界の歴史を変えた「フリクション」。しかし、その研究開発は筆記具としてスタートした訳ではありませんでした。企業の傍流から世界的ヒット商品を生み出した開発者たちの思いとマーケティング戦略、そして「フリクション」の秘密がこの一冊に。

小日向京『考える鉛筆』。美しい削りかすの作り方や、状況に応じた握り方などを紹介。余す所なく、筆者の鉛筆愛に溢れた一冊です。とてもマニアックな世界かと思いきや、どこか共感できてしまう不思議な魅力があります。あなたも自分だけのお気に入りの一本が欲しくなるかも。

11月の休館日

2日(月)、9日(月)、16日(月)、27日(金)
 30日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
 土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
 図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」が利用可能となりました。市内在住の視覚障がい者の方で障がいの程度が1～4級に該当する方、または療育手帳を所持している方は、市図書館に利用者申請・登録することにより、無料で各種サービス（音声データによる図書の提供など）を自宅のパソコンなどから利用できます。詳しくは問い合わせください。